

# 「美しく恵み豊かな瀬戸内海の実現」に向けた広島県の取組について

---

広島県 環境県民局 環境保全課

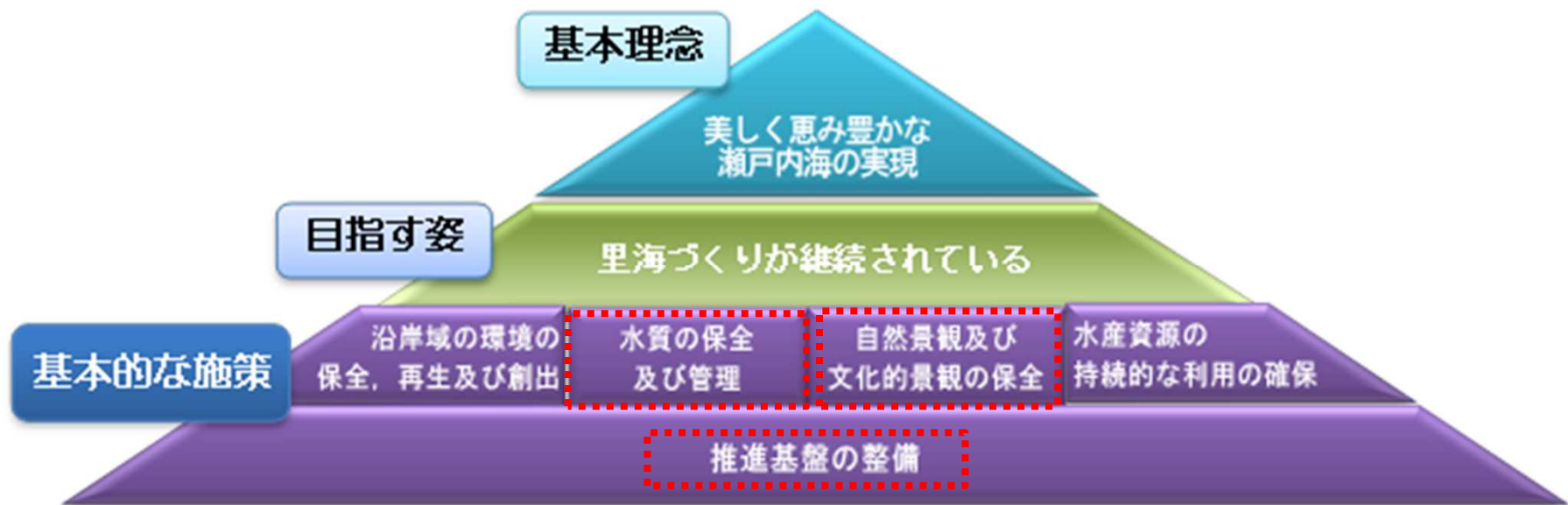
中央環境審議会 水環境部会  
瀬戸内海環境保全小委員会（第17回）資料  
令和元年10月8日

# 目次

- **1 瀬戸内海の環境の保全に関する広島県計画**
- **2 海ごみ対策**
- **3 課題解決に向けた必要な方策**

# 1 瀬戸内海の環境の保全に関する 広島県計画

# 計画の施策体系

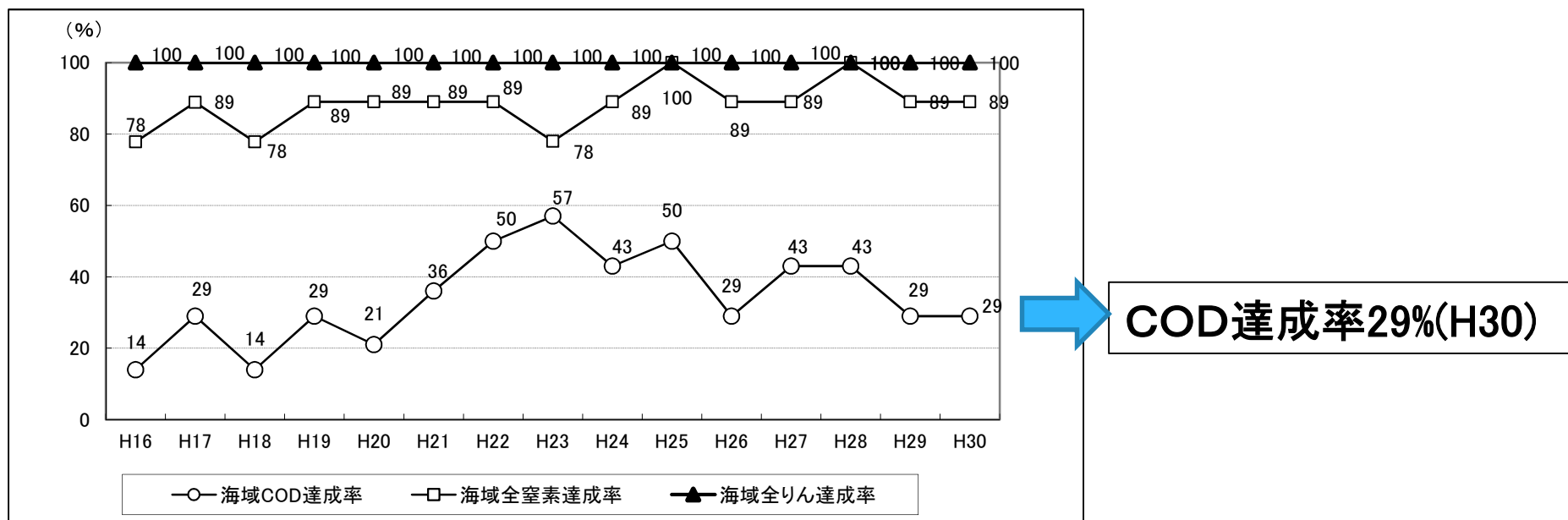


計画期間：平成28年度～平成37年度（概ね5年で見直し）

# (1) 水質の保全及び管理

## 【現状と課題】

- CODの環境基準達成率が低い
- 漁業生産量の減少と窒素・りん等，栄養塩類の流入量低下との関係性が指摘されている。



広島県データ

## (1) 水質の保全及び管理

### 【目標】

水質の保全及び管理を通じて、海域の利用状況に適した水質の確保

### 【主な施策】

水質総量削減計画の策定(第8次計画) H29.6

きれいで豊かな海の確保に関する検討に参画 H27～

## (2) 自然景観及び文化的景観の保全〈海ごみ〉

### 【現状と課題】

海ごみによって景観を損ねるだけでなく、生態系、漁業への影響が懸念

### 【目標】

瀬戸内海固有の自然景観及び文化的景観の保全と利用を推進することで、地域の魅力の再認識し、地域の活性化につなげる

## (2) 自然景観及び文化的景観の保全〈海ごみ〉

### 【主な施策】

海岸漂着物処理推進法に基づく地域計画を策定し、重点的に取り組む地区を設定等

自治体，漁業関係者，地域住民等の連携による自主的かつ継続的な回収・処理，発生抑制対策に取り組む

- (漂着ごみ) 海岸の一斉清掃の拡大
- (漂流ごみ) 広島港等に配備されている清掃船による回収
- (その他) 投棄等を防止するため廃棄物処理法等の強化 等







## 2 海ごみ対策



# (1)せとうち海援隊 (H14~)

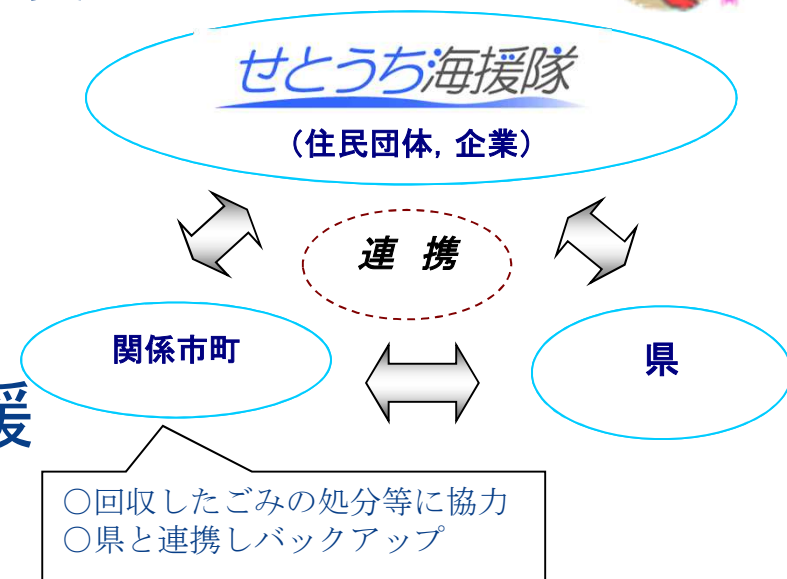
## 【概要】

- ・海浜における環境保全活動(海浜清掃・美化, 海岸・干潟生物調査)を実施する団体等を「せとうち海援隊」として認定

\* 認定団体 36団体 (H30年度末現在)



- ・認定団体の活動に対し,  
傷害・賠償保険への加入  
活動資材の提供,  
活動のPR 等を実施し支援



# (1)せとうち海援隊 (H14~)



## (2)海ごみ対策支援 (H28~)

### ○宮島一斉清掃事業(モデル事業)の実施(H28年度)

#### 「宮島海岸GOMIゼロ大作戦」(H28.7.16(土)開催)

- ・GOMI拾いウォーキング
- ・スポーツごみ拾い
- ・GOMI拾いコン
- ・宮島エコツアー 等楽しみを交えた海岸清掃活動

参加者数 927名

ごみ回収量 7,052kg

# (2)海ごみ対策支援 (H28~)

仲間と、家族と、出会った人と、楽しみながら環境活動しよう!!

楽しむ・気づく・感じる

## 宮島海岸 GOMIゼロ 大作戦

参加無料

参加特典あり!!

2016年7月16日(土)  
廿日市市宮島町の海岸にて

**project 1** スポGOMI! in 包ヶ浦  
スポニツ総力でゴミ拾いを競おう!!  
5人一組のチーム対決戦、  
家族や仲間とエンドリニじよう。

**project 2** GOMI拾いウォーキング  
貴重な宮島の原生林を庇しながら  
海岸線のゴミをピツのアップ。  
ファミリーでのんびり楽しもう。

**project 3** こいのわ PROJECT  
出先の場合は、  
清掃活動を運して発生するゴミも、  
運動後はスチキなバーベキューを堪能。  
※GOMI拾いの後は、お弁当(お持ち込み)の食料が  
準備されています。

**project 4** AQUA SOCIAL FES!! 2016  
瀬戸内海の運動ごみを掃除して  
宮島の自然を演劇しよう!

**project 5** 宮島南部海岸のクリーンアップ!  
いつもは上陸できない宮島の海岸、  
あなたの知らない宮島の海岸を  
清掃しておまかせ!

**project 6** 宮島エコツアー  
宮島の自然体験と  
七つの神域を巡るエコツアー

主催 広島県  
共催 廿日市市  
後援 一般社団法人広島県観光振興協会  
一般社団法人宮島観光協会  
廿日市市宮島公園衛生推進協議会  
広島県観光振興協会連合会  
ポートルース宮島  
協賛 伊藤園 Calbee  
企画運営 株式会社 広島ホームテレビ

広島ホームテレビ 検索

イベントに参加して、楽しみながらできる環境活動!!

2016年7月16日(土) ※小雨決行  
荒天などによる順延日 2016年7月17日(日)

集合場所:ポートルース宮島入口 ポプラ横 廿日市市宮島口1-5-60 (集合時間は各プロジェクトを参照)  
オープニングセレモニー:9時30分より宮島学園にて (GOMI拾いウォーキング会場)

### 目的やグループ構成で選べる6つの清掃プロジェクト

**project 1** スポGOMI! in 包ヶ浦  
最もエキサイティングな環境貢献活動で、既に全国で200大会以上が開催されたスポGOMIが、ついに宮島で初開催。決められた時間・エリア・人数でゴミを集め、ポイント化して順位を決定。友達で、家族で、職場の仲間とチームを作って参加しよう。

【集合時間】7時20分  
【開催時間】9時30分~11時30分  
【場 所】包ヶ浦周辺エリア  
【集合式会場】宮島包ヶ浦自然公園

**project 2** GOMI拾いウォーキング  
宮島の豊かな自然の中でウォーキングを楽しむイベントです。国内で唯一宮島だけに生息しているミヤマトンボに関するセミナーや、クイズラリーもあるのです。小さなお子様でも気軽に参加出来ます。

【集合時間】8時30分  
【開催時間】9時30分~13時00分  
【ゴール後は各自解散】

【コース】宮島学園~豊島神社~多々良湯~大元休憩所(飯島水鏡跡)

**project 3** GOMI拾いコン  
チーム対決でゴミ拾いを行い、ポイントを感じながら、気になる人をチェック。ゴミ拾いの後は、バーベキューパーティも開催。宮島で新しい出会いを見つけよう。

【集合時間】9時00分受付開始  
【開催時間】10時30分~13時00分

【場 所】入浜エリア  
【集合式会場】宮島包ヶ浦自然公園

**project 4** 同時開催!! AQUA SOCIAL FES!! 2016  
(みやしま未来ミーティング)  
緑陰は、美しい瀬戸内海も、高波や台風、潮流によって潮流ごみが打ち上げられてしまいます。海岸ごみ清掃活動とともに、回収されたごみはどんなものなのかという学習や、自然観察会やクラフトを実施します。

【集合時間】9時00分受付開始  
【開催時間】9時30分~15時00分  
【場 所】瀬戸内海岸  
【送迎方法】チャーター船  
【お申し込み及び注意事項】※お申し込みは、お申し込みフォームにてご確認ください。

**project 5** 同時開催!! 宮島南部海岸 クリーンアップ!  
遠目には美しい宮島の海岸、近づいてみると多くのごみが漂着しています。今回は、普段近寄れない宮島西部に上陸し、漂着ごみの収集に汗をかいてもらい、そして、宮島から見る瀬戸内海の多島美を堪能してもらいます。

【集合時間】9時00分受付開始  
【開催時間】10時30分~13時00分  
【場 所】宮島西部の海岸

**project 6** 同時開催!! 宮島エコツアー  
(瀬戸内ツーリズム推進協議会)  
エコツーリズムとは、地域ぐるみで自然環境や歴史文化など、地域の魅力を観光客に伝えることにより、その価値や大切さが理解され、保全につながることを目指していく仕組みです。宮島の七つの神域を巡る七瀬遊りや瀬戸内の生物観察、豊かな自然と平安時代から近代に至るまでの歴史・文化の魅力をゆっくりとした時間で体感できるツアーとしております。

【集合時間】9時 マリーナホップ機橋集合  
【開催時間】9時15分~16時15分  
【参加費】3,000円  
【コース】マリーナホップ機橋(出発)~広島湾 七瀬遊り~瀬戸内海 青島津浦~七瀬遊り~瀬戸内海 宮島(解散)

注意事項

- ※開催当日が雨天で中止の場合、順延日は7月17日(日)となります。
- ※開催日の仕舞はフェリーのチャーター料又は定期費で宮島へ参ります。集合場所・時間については開催前までお電話の上でご案内いたします。
- ※個別イベント終了後に帰路を調整します。(自由解散となります)
- ※参加は行っていない様ですので、前日イベント終了後集合までお集まりください。
- ※雨の日と天候の上昇が予想されますので、帽子などによる十分な日よけ対策をお願いします。
- ※雨の心配がある場合は、雨具(他別)をご用意下さい。

会場ご案内マップ

ポートルース宮島  
宮島学園  
宮島包ヶ浦自然公園  
豊島神社  
多々良湯  
大元休憩所(飯島水鏡跡)

宮島包ヶ浦自然公園  
豊島神社  
多々良湯  
大元休憩所(飯島水鏡跡)

瀬戸内海岸  
宮島西部の海岸

マリーナホップ機橋(出発)~広島湾 七瀬遊り~瀬戸内海 青島津浦~七瀬遊り~瀬戸内海 宮島(解散)

★詳しくはHPをご覧ください 広島ホームテレビ 検索

## (2)海ごみ対策支援 (H28~)

### ○市町の海ごみ対策の支援(国庫補助)

国庫補助を活用し海岸清掃等に取り組む市町を拡大中

年度	市町数	市町
H28	6市町	竹原市, 廿日市市, 江田島市, 海田町, 坂町, 大崎上島町
H29	8市町	呉市, 竹原市, 大竹市, 廿日市市, 江田島市, 海田町, 坂町, 大崎上島町
H30	9市町	呉市, 竹原市, 大竹市, 廿日市市, 江田島市, 海田町, 坂町, 安芸太田町, 大崎上島町 * 竹原市, 坂町は西日本豪雨災害のため中止



### (3) 海岸漂着物実態調査 (H30~)

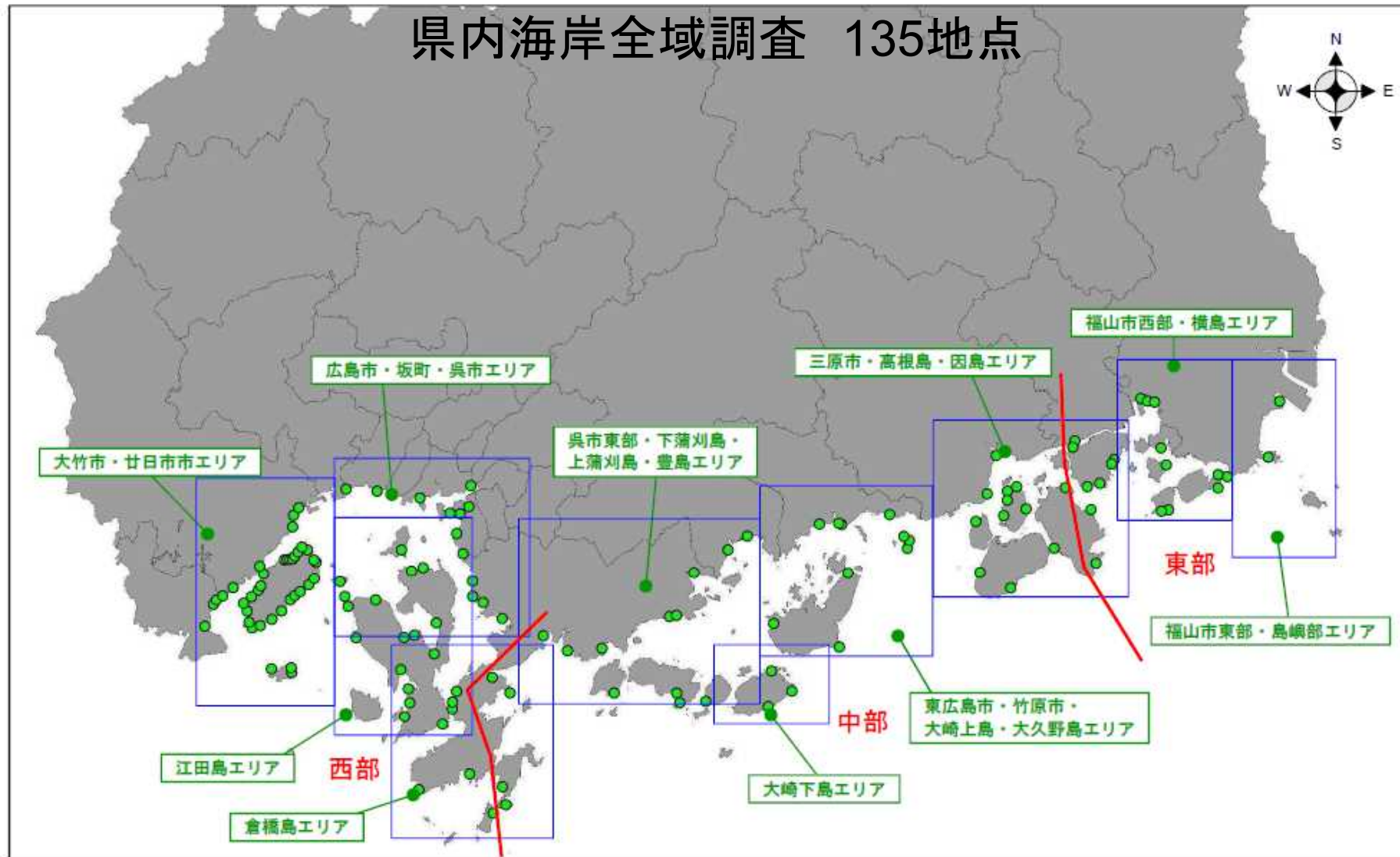
#### ○趣旨

今後の発生源対策の基礎資料とするため、県内の海岸への漂着物の量とその種類を把握

#### ○方法

- ・流木等を除く人工物を対象
- ・県内の海域を西部，中部，東部に分類し，年4回実施
- ・135 地点を対象に目視による「県内海岸全域調査」を実施し，海岸漂着物の量を把握
- ・うち10 地点を対象に「海岸漂着物組成調査」を実施
- ・「県内海岸全域調査」と「海岸漂着物組成調査」から，県全体の海岸漂着物の量と種類を推計

### (3) 海岸漂着物実態調査 (H30~)



### (3) 海岸漂着物実態調査 (H30~)

#### 海岸漂着物組成調査 10地点



# (3) 海岸漂着物実態調査 (H30~)

## 人工系ごみの材質別品目の詳細分類

ごみ材質	品番	品目	備考
プラスチック類	1	ペットボトル	飲料
	2	プラスチックボトル（洗剤、漂白剤等）	生活
	3	食品容器（プラスチックトレイ）	食品
	4	食品の包装袋、レジ袋	食品
	5	使い捨てライター	生活
	6	農業用肥料袋	農業
	7	プラスチック製フロート・ブイ等（漁具）	水産
	8	カキ養殖用パイプ（漁具）	水産
	9	カキ養殖ワッシャー	
	10	土のう袋	
	11	その他のプラスチック類	
発泡スチロール	12	食品容器（発泡スチロール）	食品
	13	発泡スチロール製フロート等（漁具）	水産
	14	その他の発泡スチロール類	
金属類	15	飲料缶（スチール製）	飲料
	16	飲料缶（アルミ製）	飲料
	17	その他の缶（スプレー缶等）	生活
	18	家電製品等の粗大ごみ	大型
	19	その他の金属類	
ゴム	20	手袋、長靴等	生活
	21	その他のゴム類	
木	22	木（建設資材等）	建築
	23	その他（流木等）	
紙	24	紙コップ、紙皿	食品
	25	紙袋	生活
	26	紙パック	
	27	その他の紙類	
ガラス・陶器	28	飲料ガラスびん	飲料
	29	ガラス製の食器・破片	食品
	30	陶器製の食器・破片	食品
	31	その他のガラス、陶器類	
その他	32	釣り糸、ルアー、浮き（漁具、釣り）	水産
	33	ロープ（漁具）	水産
	34	漁網（漁具）	水産
	35	布類	
	36	その他分類不能なごみ	

### (3) 海岸漂着物実態調査 (H30~)

#### ○ 調査結果

#### (1) 海岸漂着物の量

##### ・ 海域毎の年平均漂着量

重量は約7~52t 体積は約99~1,714m<sup>3</sup>

年平均漂着量	西部	中部	東部
重量	52t	13t	7t
体積	1,714m <sup>3</sup>	203m <sup>3</sup>	99m <sup>3</sup>

- ・ 海岸漂着物量は、年間を通して西部で特に多い傾向が見られ、全体のおよそ8割を占めていた。
- ・ 本土側の海岸と比較して、島しょ部の海岸において海岸漂着物が多い傾向が見られた。

### (3) 海岸漂着物実態調査 (H30~)

#### (2) 海岸漂着物の種類

- ・西部においては、漁業活動に関連するごみ(発泡スチロール製フロート及びカキ養殖用パイプ)が大部分を占めていた。
- ・中部および東部については、陸上の生活由来のごみ(ペットボトル, その他のプラスチック類等)が大部分を占めていた。
- ・漁業活動に関連するごみを除くと, 西部・中部・東部における海岸漂着物量に大きな差はなかった。



# **3 課題解決に向けた必要な方策**

# 課題解決に向けた必要な方策

## 1 海ごみ対策

(1) 生活由来のごみ等について実効性のある発生抑制を図るためには、発生源の解析が必要

→海ごみの発生源は、意図的なポイ捨てや不法投棄に限らず、非意図的な日常生活の行為（例：ゴミステーションの管理不十分）も考えられる。

実効性のある対策を検討するには、発生源ごとの寄与率等の分析が求められる。



# 課題解決に向けた必要な方策

## 1 海ごみ対策

(2) 海ごみの回収については、様々な関係省庁や主体が実施しており、情報の集約が必要

→海ごみの実態を把握するには、漂着量調査と合わせて海ごみ回収量の情報も求められる。  
全国統一で情報収集できる仕組みと情報収集のフォーマットが求められる。

# 課題解決に向けた必要な方策

## 2 水質管理

海域の特性や海面利用状況により異なる湾灘ごとの課題への対応の検討が必要

→各種検討結果やその他の知見を基にした適正な栄養塩類の管理の在り方を示すガイドラインの策定が望まれる。



美しく恵み豊かな瀬戸内海を目指して

